

早期発見・早期対応が大切です

その物忘れ、認知症ではありませんか？

単なる年のせいに見え隠れした認知症

平成24年度に実施された厚生労働省の研究では、65歳以上に占める全国の認知症高齢者は462万人と推計され、これまでの国の予測を上回るペースで増加していることが報告されました。

「単なる年のせい」と考えて、認知症と気づかないまま

放置すると症状が進行してしまったり、「何となく心配」と思ってもどうしていいかわからず、そのままになっていくことも少なくないのが実情です。

今や認知症は老後の大きな不安材料となっていますが、早期に発見して対応することで、進行を遅らせ穏やかに暮らすことが可能です。

認知症の早期発見・早期対応のメリット

治る病気や一時的な症状の場合があります

・甲状腺ホルモン異常、脳腫瘍などで認知症が起きている場合、早期に受診して原因となつていく病気を治療すれば治つたり軽快する場合があります。

進行を遅らせることができます

・アルツハイマー型認知症は、早期治療により進行を遅らせることができます。

精神症状の軽減により、その人らしく暮らすことができます

・早期に医師や専門家に相談し、妄想やうつ状態、暴力などの精神症状や生活障がいに対する治療や環境整備、適切なケアを行えば穏やかに暮らすことができます。

介護負担の軽減ができます

・介護者が介護方法やサビスに関する情報を早期から入手でき、病気の進行に合わせて余裕を持つて対応できます。

早期発見

「気づき」のポイント

下表のいくつかに当てはまる場合は、かかりつけの医師や地域包括支援センターにご相談ください。

家族や知人の「気づき」が大切です。ひとり暮らしの高齢者の方もご近所の声かけや見守りによる気づきがあれば早期対応が可能になります。

加齢による物忘れと認知症の違い

加齢による物忘れ	認知症の物忘れ
- 体験の一部を忘れる - 目の前の人の名前が思い出せない - ヒントを与えたら思い出す - 時間や場所の見当がつく - 約束をうっかり忘れる - 曜日や日付を間違える	- 体験の全部を忘れる - 目の前の人が誰なのか分らない - ヒントを与えても思い出せない - 時間や場所の見当がつかない - 約束自体を忘れる - 月や季節を間違える

お問い合わせは

▽市地域包括支援センター
(高年介護課内)
☎35-2940

*月～金曜日の午前8時30分
～午後5時15分(年末年始・祝日を除く)

▽県認知症疾患医療センター
(須田病院内)
☎72-2213

*月～金曜日の午前9時～午後4時30分・土曜日の午前9時～11時30分(年末年始・8月15日・祝日を除く)

毎月28日は「岐阜県防災点検の日」です。災害への備えをチェックしましょう！

2013.9.1



認知症とは…

いろいろな原因によって脳の細胞が死んでしまったり、はたらきが悪くなったりするため、さまざまな生活障がいが起こる状態(6カ月以上継続)を「認知症」といいます。

認知症の症状は大きく2つに分けられ、脳の細胞が死ぬことによって直接起こる「中核症状」(記憶障がい、理解・判断力障がいなど)と、本人の性格や人間関係、生活環境などの要因が絡み合って起こる「行動・心理症状」(幻覚や妄想、徘徊、暴力、うつ状態など)があります。